様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　8　年　6　月　26 日

茨城県知事　　殿

提出者
住　　所　茨城県筑西市下川島 635 番地
氏　　名　関東道路株式会社
代表取締役　武藤　正浩
電話番号　0296-34-1211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	関東道路株式会社
事業場の所在地	茨城県筑西市下川島 635 番地
計画期間	令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　231，729 千円（令和 7 年度）
③従業員数	47 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場発生 運搬（自社または委託） 中間処理施設にて再資源化（自社または委託） 最終処分施設にて埋立処分（委託）

（日本工業規格 A 列 4 番）

茨城県
令 - 8. 6. 29
県西県民センター
受付

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

統 括 責 任 者　代表取締役
産廃処理責任者　工場長
産 廃 物 担 当 者　現場担当者
●運搬業者、処理業者の選定（営業部・工事部）
●委託契約の締結（業務部）
●産業廃棄物管理票の交付・管理（業務部）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（　　令和７　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排　　出　　量	別紙の通り	
	（これまでに実施した取組） 発生した廃棄物の分別を徹底し、再資源化しやすい状態で搬出。 再生砕石や再生合材など、工事において再生材の積極利用。 適正な中間処理業者を選定し、確実に再資源化。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排　　出　　量	別紙の通り	
	（今後実施する予定の取組） 現状の取組の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンがら、アスがら、がれき類、陶磁器、廃プラ、金属、混合（安定型）、石綿含有、汚泥、紙、木、繊維、混合（管理型含）、水銀の分別を現場内で適切に実施。
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記の廃棄物の適切な分別の継続。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>別紙の通り</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
コンクリートがら、アスコンがら、その他がれき、ガラス・陶磁器くずについて、破砕しその全部を再生骨材、再生路盤材、再生アスコンに再資源化。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②　計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>別紙の通り</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
上記と同様に実施していく。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　　年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（　　７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>別紙の通り</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
再生利用を行う業者を選定し、再資源化率の向上を図る。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙の通り</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>別紙の通り</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
再生利用業者への搬出を基本とし、優良認定業者への視野に入れ、更なる再資源化率の向上に努める。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

【別紙】産業廃棄物処理計画書

単位 t

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
	排出量		自己再生利用量		自己熱回収量		自己中間処理減量量		自己埋立処分又は海洋投入処分量		全処理委託量		優良認定業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
コンクリートがら	903.61	300.00	881.31	300.00							22.30				22.30					
アスコンがら	943.10	600.00	626.82	600.00							316.28				316.28					
その他がれき	22.15	10.00	9.65	10.00							12.50				12.50					
ガラス・陶磁器くず	2.35	2.00	0.25	2.00							2.10				2.10					
廃プラスチック類	4.53	0									4.53				4.53					
金属くず	0.03	0									0.03				0.03					
混合（安定型のみ）	0.67	0									0.67				0.67					
石綿含有産業廃棄物	1.00	0									1.00				1.00					
建設汚泥	0.22	0.20									0.22				0.22	0.20				
紙くず	0.34	0									0.34				0.34					
木くず	4.87	10.00									4.87				4.87	10.00				
繊維くず	1.21	0									1.21				1.21					
廃石膏ボード	1.43	0									1.43				1.43					
混合（管理型含む）	1.56	0									1.56				1.56					
水銀使用製品産業廃棄物	0.03	0									0.03				0.03					
合計	1887.07	922.20	1518.03	912.00							369.04				369.04	10.20				